

第 3 期中期目標期間に係る業務の実績に関する報告書 (中期目標期間 (見込み) 評価)

業務実績・決算の概要

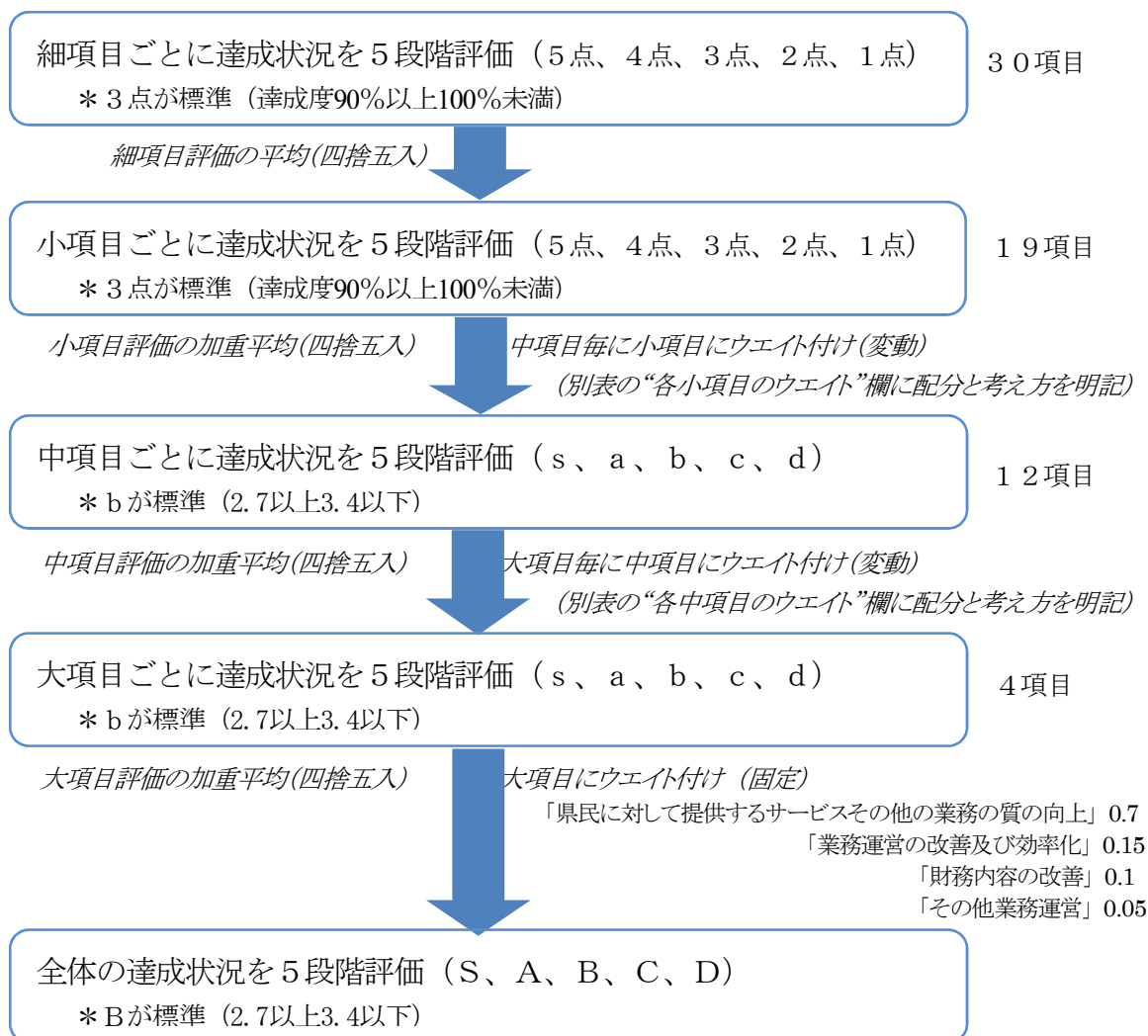


©2023 Yamaguchi ITI

第3期中期目標期間における業務実績 (R1~R4)

1 自己評価結果

(1) 自己評価の方法



(2) 自己評価の結果

◆全体的な状況 中期目標を十分達成（A評価：3.5ポイント）の見込みである。

4つの大項目のうち、ウエイトが最も重い大項目【県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上】は、構成する3つの中項目のうち「成長産業の発展に向けたイノベーションの推進」は、中期目標を十分達成見込みである。「中小企業の「底力」の発揮に向けたものづくり力の高度化・ブランド化の推進」及び「中核的技術支援拠点」としての更なる機能強化」は、中期目標を概ね達成見込みである。全体的にはa「中期目標を十分達成見込み」となった。

残る3つの大項目【業務運営の改善及び効率化】は、b「中期目標を概ね達成見込み」、【財務内容の改善】は、a「中期目標を十分達成見込み」、【その他業務運営】は、b「中期目標を概ね達成見込み」であった。

その結果、全体評価は”A”「中期目標を十分達成見込み」となった。

◆評定の概要 別表のとおり

2 自己評価の総括

(1) 全体的な状況

4つの大項目のうち、「県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上」及び「財務内容の改善」は「a評価」で中期目標を十分達成見込みであり、「業務運営の改善及び効率化」及び「その他業務運営に関する重要事項」は「b評価」で中期目標を概ね達成の見込みである。

(2) 大項目ごとの状況

第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

評 定 中期目標を十分達成見込み (a)

当該大項目内の中項目別評価の評点平均値に各中項目のウエイトを乗じて得た数値の合計値は3.5であり、「a評価」の判断の目安である「3.5以上4.2以下」の範囲内となっている。

「県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項」を構成する3つの中項目である「戦長産業の発展に向けたイノベーションの推進」の進捗はa評価であり、中期目標を十分達成見込みである。「中小企業の「底力」の発揮に向けたものづくり力の高度化・ブランド化の推進」及び「中核的技術支援拠点」としての更なる機能強化」の進捗はb評価であり、中期目標を概ね達成見込みである。

【特記事項】

- イノベーション推進センター、R&Dラボ推進センター、宇宙データ利用推進センター、IoTビジネス創出支援拠点、プロジェクト管理室により、研究テーマの発掘、コーディネート活動、競争的資金の獲得支援、展示会展覧支援等の結果、多数の成果（新たな研究開発グループの始動、提案公募型事業の採択、事業化）
- 実用化研究の推進、やまぐちブランド技術研究会、やまぐち3Dものづくり研究会、衛星データ解析技術研究会、スマート★づくり研究会、環境・エネルギー研究会の積極的な活動、県内企業における技術革新計画の承認支援、国等の提案公募型事業の獲得及び企業の商品化での多数の成果
- バーチャル3Dものづくり支援センターの運用による遠隔地からの3D機器活用を促進する仕組みの構築
- コロナ禍においてもWeb会議や機器操作代行など切れ目のない企業支援の継続
- 先端的試験研究機器の整備や計画的な保守などによる技術支援サービス環境の充実

第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項

評 定 中期目標を概ね達成見込み (b)

当該大項目内の中項目別評価の評点平均値に各中項目のウエイトを乗じて得た数値の合計値は3.4であり、「b評価」の判断の目安である「2.7以上3.4以下」の範囲内となっている。

「業務運営の改善及び効率化に関する事項」を構成する5つの中項目のうち、「運営体制や経営資源配分の継続的見直し」及び「危機管理対策の充実」の進捗はa評価であり、それ以外の3つの中項目の進捗はすべてb評価であり、中期目標を概ね達成見込みである。

【特記事項】

- DX担当職員の配置
- 成長産業の発展に向けた各種プロジェクトや研究開発の管理体制強化のためのプロジェクト管理室及び技術管理室の設置
- 経営や予算、中期計画等の戦略的業務を推進するため経営企画室を経営戦略室に改組
- SNSの活用など業務の「見える化」の推進
- 研究職員及び事務職員の能力開発研修の体系的実施
- 労働安全衛生法等に係る管理者・主任者等による業務の推進
- 危険物の安全管理体制の改善や化学物質管理規程、病原体等安全管理規程の見直し
- 新型コロナウイルス感染症拡大状況に対応した対策の逐次実施

- 情報ネットワーク機器類の計画的な更新・保守による安全で継続的な業務環境の維持
- 情報セキュリティ対策の強化
- 安全保障貿易管理への取組

第3 財務内容の改善に関する事項

評 定 中期目標を十分達成見込み (a)

当該大項目内の中項目別評価の評点平均値に各中項目のウェイトを乗じて得た数値の合計値は3.7であり、「a評価」の判断の目安である「3.5以上4.2以下」の範囲内となっている。

「財務内容の改善に関する事項」を構成する2つの中項目ともに進捗はa評価であり、中期目標を十分達成見込みである。

【特記事項】

- 機器整備や研究開発に係る競争的資金の獲得
- DX化の促進による業務の効率化
- 厳密かつ効果的な予算配分による予算編成及び効果的な予算執行
- 比較的規模の小さな経費の精査による経費縮減

第4 その他業務運営に関する重要事項

評 定 中期目標を概ね達成見込み (b)

当該大項目内の中項目別評価の評点平均値に各中項目のウェイトを乗じて得た数値の合計値は3.3(当該大項目内の細項目別評価の評点の単純平均値は3.3)であり、「b評価」の判断の目安である「2.7以上3.4以下」の範囲内となっている。

「その他業務運営に関する重要事項」を構成する2つの中項目の進捗は、「施設設備の適切な管理」の進捗はa評価、「環境負荷の低減」の進捗はb評価であり、中期目標を概ね達成見込みである。

【特記事項】

- 施設・設備の保守業務について、計画的に予算配分することで、安全性や業務の信頼性を確保
- 必要性の高い修繕に対して、優先的に予算執行することで施設・設備を良好な状態に保持
- 新型コロナウイルス対策に配慮した仕様の大規模空調設備更新による施設の長期的な維持
- 利用者の利便性向上のためのテレワークスペースの設置
- 環境負荷の低減に向けた環境マネジメントの取組の継続

3 平成31年度（令和元年度）～令和4年度業務の評価（概要）

【大項目】第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上

（評定：a 大項目加重平均値：3.5）

（R01:3.6、R02:3.6、R03:3.6、R04:3.7）

中項目 小項目 細項目	評定	評定の理由	報告書
		主な取組	
第1-1 成長産業の発展に向けたイノベーションの推進	a	中項目加重平均値：3.8 (R1:3.8、R2:3.8、R3:3.8、R4:4.2)	—
第1-1(1) 成長産業における研究開発を支援する体制の強化	4 R1:4 R2:4 R3:4 R4:4	<p>中期計画を十分達成見込み</p> <p>○イノベーション推進センター（環境・エネルギー推進チーム、医療関連推進チーム、バイオ関連推進チーム）、R&Dラボ推進センター、宇宙データ利用推進センター、IoTビジネス創出支援拠点により、国等の補助事業を活用し、成長産業におけるイノベーション創出のための活動を推進</p> <p>○プロジェクト推進部及びプロジェクト管理室設置による管理体制強化（R4）</p> <p>○環境・エネルギー分野で累計24件、医療関連分野で累計15件、バイオ関連分野で累計13件、R&Dラボ推進センターで累計8件、宇宙データ利用推進センターで累計5件、IoTビジネス創出支援拠点で累計3件の事業化</p>	11
第1-1(2) 産学公や企業間連携による研究開発・事業化の促進	3 R1:3 R2:3 R3:3 R4:4	<p>中期計画を概ね達成見込み</p> <p>・イノベーション推進センター、R&Dラボ推進センター、IoTビジネス創出拠点の取組により、95組の新たな研究開発グループが始動</p> <p>・イノベーション推進センター、プロジェクト管理室、R&Dラボ推進センター、宇宙データ利用推進センター及びIoTビジネス創出支援拠点を中心としたコーディネート活動等により、118件の提案公募型事業に採択、68件の事業化につながる。</p>	19

・提案公募型事業の獲得支援状況 () 内は当該年度新規件数

<イノベーション推進センター関連>

R1	R2	R3	R4	3期累計
12件(12件)	39件 ^{※1,3} (29件 ^{※1,3})	33件 ^{※2,3} (27件 ^{※2})	32件 ^{※2} (23件 ^{※2})	116件(91件)

<R&Dラボ推進センター関連>

R1	R2	R3	R4	3期累計
—	6件 ^{※4} (6件 ^{※4})	3件 ^{※5} (2件 ^{※5})	1件 ^{※5} (1件 ^{※5})	10件(9件)

<宇宙データ利用推進センター関連>

R1	R2	R3	R4	3期累計
6件(6件)	5件(2件)	2件(1件)	9件(8件)	22件(17件)

<IoTビジネス創出支援拠点関連>

R1	R2	R3	R4	3期累計
1件(1件)	1件 ^{※5} (1件 ^{※5})	2件 ^{※5} (1件)	1件(1件)	5件(4件)

<プロジェクト管理室関連>

R1	R2	R3	R4	3期累計
—	—	—	4件(2件)	4件(2件)

※1 うち2件はR&Dラボ推進センターと協働、※2 うち1件はR&Dラボ推進センターと協働、※3 うち1件はIoTビジネス創出支援拠点と協働、※4 うち2件はイノベーション推進センターと協働、※5 うち1件はイノベーション推進センターと協働

第1-1 (3) 数値目標

5

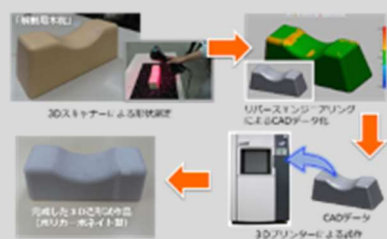
小項目平均：5.0

—

イノベーションの推進による成長産業分野の事業化件数 中期計画：60件 (4年間の目標：47件)



起立着座リハビリ支援車



解剖用枕の製作支援

5
R1:5
R2:5
R3:5
R4:5

中期計画を達成済み(十二分に達成見込み)
達成度 107% (中期計画に対する数値)
達成度 133% (4年間の目標に対する数値)

21

◎ 68件

<内訳> (R4分を記載)

イノベーション推進センター

(環境・エネルギー推進チーム) 9件

- ・高濃度酸素供給装置付土耕栽培向けファイナブル発生装置、水耕栽培用酸素供給装置、水素製造用光触媒等向け光増感用有機色素 他

(医療関連推進チーム) 3件

- ・起立着座リハビリ支援車「自由自座位」、3Dものづくり技術を用いた解剖用枕 他

(バイオ関連推進チーム) 2件

- ・長州どりのそぼろふりかけ、トーフミート(煮絞り製造による2次加工用植物性代替肉食品)

R&Dラボ推進センター 3件

- ・自動車用樹脂部品生産工程の合理化 他

宇宙データ利用推進センター 3件

- ・衛星データ解析による小麦防除適期予測サービス 他

第1-2 中小企業の「底力」の発揮に向けたものづくり力の高度化・ブランド化の推進	b	中項目加重平均値：3.2 (R1:3.0、R2:3.4、R3:3.4、R4:3.6)	—
--	---	---	---

第1-2 (1) 実用化研究の推進とその成果の普及	3	小項目平均：3.0	—
---------------------------	---	-----------	---

ア 実用化研究の推進	3	中期計画を概ね達成見込み	22
------------	---	--------------	----



歯ブラシ



鹿野和紅茶



オリジナル石鹸

- ・技術管理室の設置、研究グループの4技術グループ（製品技術、電子技術、材料技術、食品技術）への再編により、県内企業のものづくり技術の高度化の促進に向けた業務体制を強化
- ・実用化研究とその成果による事業化

R1	R2	R3	R4
10 テーマ実施	10 テーマ実施	8 テーマ実施	8 テーマ実施
事業化に向けた取組開始：2テーマ (5件) 商品化：2件 特許出願：3件	商品化：4件 (歯ブラシ、衝撃緩和帽子、和紅茶等) 特許出願：2件	商品化：3件 (オリジナル石鹸、搾油用分離装置等) 特許出願：6件	商品化：1件 (キッチンカー向けの拡張型キャビン) 特許出願：4件



衝撃緩和帽子

イ 研究開発成果の普及	3	中期計画を概ね達成見込み	24
-------------	---	--------------	----

①研究成果の発信とその成果の活用支援

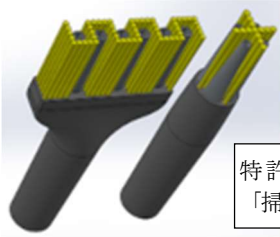


オンライン技術報告会



商品化された「やまぐち・桜酵母」を使用したクラフトビール

- ・研究報告書等の刊行、ホームページ、技術発表会等により研究開発成果の積極的発信
- ・技術報告会については、R1 は対面、R2 は対面とWebのハイブリッド、R3 以降は発表動画をホームページに一定期間掲載するオンライン形式で開催 (コロナ禍での制約と効果的な情報発信の両立)
- ・研究成果移転後のフォローアップを実施し、追加の技術支援を続けるとともに、1件の商品化、3件の特許登録等につながる



特許登録された「掃除機ノズル」

②知的財産の適切な管理

- ・研究開発成果の速やかな知的財産化：
職務発明 5 件、特許出願 7 件（計 12 件）

	R1	R2	R3	R4	3 期累計
職務発明	6 件	5 件	5 件	5 件	21 件
特許出願	6 件	8 件	8 件	7 件	29 件
新規使用許諾	3 件	7 件	3 件	4 件	17 件
権利処分※	2 件	3 件	4 件	7 件	16 件

※：期間満了、放棄及び審査請求せず

- ・弁理士を交えた定期的な知財勉強会・相談会
- ・保有特許の活用を目的とした発表会への参加（JST 新技術説明会）

第 1-2 (2) 企業の技術革新の促進

3 小項目平均：3.0

—

ア 各種技術研究会活動の積極的な展開

3 中期計画を概ね達成見込み

27



セミナー（現地とオンライン併用によるハイブリッド開催）

R1:3
R2:3
R3:3
R4:3

- ・やまぐちブランド技術研究会の継続的な活動（技術革新計画承認10件）
- ・やまぐち3Dものづくり研究会（バーチャル3Dものづくり支援センター、3Dものづくり技術活用推進事業含む）の活動
- ・衛星データ解析技術研究会の積極的な活動（研究会等16回、ワーキング会議22回、技術セミナー49回）、提案公募型事業への申請支援（17テーマ採択）
- ・スマート★づくり研究会の積極的な活動の実施、提案公募型事業の申請支援（4テーマ採択）
- ・環境・エネルギー研究会の積極的な活動（セミナー等9回）

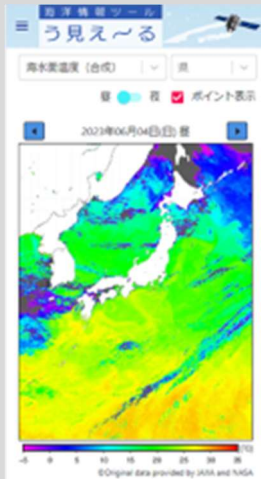
イ 研究開発計画策定や資金獲得の支援	3	中期計画を概ね達成見込み	29										
R1:3	<ul style="list-style-type: none"> 企業の技術革新計画の承認支援 <table border="1"> <tr> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>3期累計</th> </tr> <tr> <td>2企業</td> <td>3企業</td> <td>2企業</td> <td>3企業</td> <td>10企業</td> </tr> </table>			R1	R2	R3	R4	3期累計	2企業	3企業	2企業	3企業	10企業
R1	R2	R3	R4	3期累計									
2企業	3企業	2企業	3企業	10企業									
R2:3													
R3:3													
R4:3	<ul style="list-style-type: none"> 国等の提案公募型事業（競争的資金）獲得の積極的支援 <table border="1"> <tr> <th>R1</th> <th>R2^{※1}</th> <th>R度</th> <th>R4</th> <th>3期累計^{※2}</th> </tr> <tr> <td>41件(38件)</td> <td>60件(44件)</td> <td>45件(35件)</td> <td>49件(37件)</td> <td>195件(154件)</td> </tr> </table> <p>※1 コロナ対策のための事業23件含む、※2 協働重複分除外</p> <p>(R4年度獲得の主な提案公募型事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> 成長型中小企業等研究開発支援事業 (Go-Tech) ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金 新市場開拓支援事業費補助金 やまぐち産業イノベーション促進補助金 宇宙産業技術情報基盤整備研究開発事業 課題解決に向けた先進的な衛星リモートセンシングデータ利用モデル実証プロジェクト 			R1	R2 ^{※1}	R度	R4	3期累計 ^{※2}	41件(38件)	60件(44件)	45件(35件)	49件(37件)	195件(154件)
R1	R2 ^{※1}	R度	R4	3期累計 ^{※2}									
41件(38件)	60件(44件)	45件(35件)	49件(37件)	195件(154件)									

第1-2(3)数値目標	4	小項目平均：4.3	—																								
ア 特許等の出願及び新規使用許諾件数 中期計画：55件 (4年間の目標：44件)	4 R1:2 R2:5 R3:4 R4:4	中期計画を未達成（十分達成見込み） 達成度 84%（中期計画に対する数値） 達成度 105%（4年間の目標に対する数値）	31																								
		○ 46件 <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>累計</th> </tr> <tr> <td>特許等出願件数</td> <td>6</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>新規使用許諾件数</td> <td>3</td> <td>7</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>9</td> <td>15</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>46</td> </tr> </table>	年度	R1	R2	R3	R4	累計	特許等出願件数	6	8	8	7	29	新規使用許諾件数	3	7	3	4	17	合計	9	15	11	11	46	
年度	R1	R2	R3	R4	累計																						
特許等出願件数	6	8	8	7	29																						
新規使用許諾件数	3	7	3	4	17																						
合計	9	15	11	11	46																						
イ 国等の提案公募型研究開発事業の実施件数 中期計画：40件 (4年間の目標：32件)	5 R1:4 R2:4 R3:5 R4:5	中期計画を達成済み（十二分に達成見込み） 達成度 105%（中期計画に対する数値） 達成度 131%（4年間の目標に対する数値）	31																								
		◎ 42件 <table border="1"> <tr> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>3期累計</th> </tr> <tr> <td>8件</td> <td>9件</td> <td>10件</td> <td>15件</td> <td>42件</td> </tr> </table> <p><内訳>産業技術センターで実施契約を伴うもの</p> <ul style="list-style-type: none"> 戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン） 成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech事業） YMF G地域企業助成基金 やまぐち産業イノベーション促進補助金事業 など	R1	R2	R3	R4	3期累計	8件	9件	10件	15件	42件															
R1	R2	R3	R4	3期累計																							
8件	9件	10件	15件	42件																							

ウ 研究開発・技術支援が事業化（商品化）に至った件数
 中期計画：45件
 （4年間の目標：36件）



米麴だけを使用した米酢



海洋情報ツール「う見えーる」

4

R1:4
 R2:5
 R3:5
 R4:4

中期計画を未達成（十分達成見込み）
 達成度 96%（中期計画に対する数値）
 達成度 119%（4年間の目標に対する数値）

32

○ 43件

	R1	R2	R3	R4	3期累計
研究開発	2件	4件	2件	1件	9件
技術支援	7件	9件	9件	9件	34件
合計	9件	13件	11件	10件	43件

<内訳>R4年度分

研究開発 1件

- ・軽トラックタイプキッチンカー向けの拡張型キャビンの開発

技術支援 9件

- ・起立着座リハビリ支援車の製品化支援
- ・3Dものづくり技術を用いた解剖用枕の製作技術
- ・生分解蓄光剤シートの開発支援
- ・米麴だけを使用した米酢の開発
- ・青パパイヤの果汁を利用した排水処理技術の開発
- ・シロアリ防除点検システムの開発
- ・衛星データ解析による小麦防除適期予測サービスの開発支援
- ・測位衛星「みちびき」を利用した測量キットの開発支援
- ・衛星データを利用した海洋情報ツール「う見えーる」の開発支援



測位衛星「みちびき」を利用した測量キット

第1-3 「中核的技術支援拠点」 としての更なる機能強化	b	中項目加重平均値：3.4 (R1:4.0、R2:3.4、R3:3.4、R4:3.2)	—																		
第1-3 (1) 産業技術に関する 相談等の充実	3	小項目平均：3.0	—																		
<p>ア 技術相談の充実</p>  <p>サテライト窓口 (周南市)</p>	3 R1:3 R2:2 R3:3 R4:3	<p>中期計画を概ね達成見込み</p> <ul style="list-style-type: none"> 相談対応専任者による迅速かつ的確な対応 Web会議システムを利用した「技術相談できる機会」の充実 研究員による新規及び巡回訪問企業 サテライト窓口の継続的運用 	33																		
<p>イ 地域課題解決への取組</p>  <p>地域食材 (レンコン) を活用 した減塩パンの開発</p>	3 R1:4 R2:3 R3:3 R4:3	<p>中期計画を概ね達成見込み</p> <ul style="list-style-type: none"> 農業・漁業分野については、県内事業者や公設試等から課題抽出を行い、46テーマの研究開発に反映 (農業・漁業分野の研究開発テーマ数) <table border="1" data-bbox="826 853 1374 936"> <thead> <tr> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>3期累計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10</td> <td>14</td> <td>13</td> <td>9</td> <td>46</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> サービス分野については、医療関連の課題掘り起こしから12件の事業化 衛星データの情報産業への展開では提案公募型事業に17テーマが採択 農商工連携や廃棄物3Rに関する会議への出席や審査会等への協力 	R1	R2	R3	R4	3期累計	10	14	13	9	46	35								
R1	R2	R3	R4	3期累計																	
10	14	13	9	46																	
第1-3 (2) 試験研究機器の 整備等による技術支援サービスの 充実	3	小項目平均：3.2	—																		
<p>技術支援サービス充実への 取組</p>  <p>整備機器 (レーザー顕微鏡)</p>  <p>金属積層造型機 (金属3Dプリンター)</p>	4 R1:4 R2:4 R3:3 R4:3	<p>中期計画を十分達成見込み</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業への機器ニーズ調査の実施とその結果を反映した機器整備 (22機器) 技術支援サービス向上に必要な機器整備 (新規・更新・増設：64機器) バーチャル3Dものづくり支援センターの運用 <table border="1" data-bbox="842 1738 1398 1861"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>累計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用企業数</td> <td>39</td> <td>32</td> <td>29</td> <td>27</td> <td>127</td> </tr> <tr> <td>利用件数</td> <td>125</td> <td>124</td> <td>73</td> <td>76</td> <td>398</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> やまぐち3Dものづくり研究会の活動や3Dものづくり技術活用推進事業の推進と一体化した普及活動への取組 	項目	R1	R2	R3	R4	累計	利用企業数	39	32	29	27	127	利用件数	125	124	73	76	398	38
項目	R1	R2	R3	R4	累計																
利用企業数	39	32	29	27	127																
利用件数	125	124	73	76	398																

技術支援サービスの検証



3

中期計画を概ね達成見込み

39

R1:3
R2:3
R3:3
R4:3

- ・技術支援サービスの満足度は高水準(平均 97%)
- ・技術支援サービスを企業が受ける目的の分析

<技術相談> 「製品の品質評価」、「新製品の開発」、「技術情報の収集」等多様な目的が並立する
<開放機器> 「製品の品質評価」、「基礎研究」及び「新製品の開発」で8割を占める
<依頼試験> 「製品の品質評価」が圧倒的に多く7割を占める

ア 開放機器、依頼試験
①開放機器



機器紹介動画

4

中期計画を十分達成見込み

41

R1:4
R2:4
R3:4
R4:3

- ・計画的な機器の保守・校正を継続的に行い、機器の信頼性を確保

項目	R1	R2	R3	R4	3期累計
保守・校正機器	29	28	35	31	123

- ・開放機器情報記載冊子の年度毎の更新と、継続的な配布

- ・利用件数及び利用金額

(R4は空調工事による長期使用停止期間機器複数あり)

年度	R1	R2	R3	R4	累計
利用件数(件)	2,816	2,928	3,152	2,702	11,598
利用金額(千円)	17,078	15,742	18,007	17,296	68,124

- ・利用促進を図るため、R3年度以降、機器の紹介動画を作成、ホームページで公開

②依頼試験




- ・機器の保守、校正を継続的に行い、試験結果の公正性を確保しながら、オーダーメイド試験による柔軟な対応も実施

年度	R1	R2	R3	R4	3期累計	
利用件数(件)	920	871	625	659	3,075	
利用金額(千円)	18,760	19,656	16,832	14,900	70,147	
うち O.M. ※件数(件)	321	345	260	186	1,112	
うち O.M. 金額(千円)	34.9	39.6	13,526	11,638	53,068	
O.M. 割合	件数	34.9%	39.6%	41.6%	28.2%	36.2%
	金額	70.7%	74.5%	80.4%	78.1%	75.7%

※ O.M. : オーダーメイド試験

41

<p>イ 受託研究・共同研究</p>	<p>3 R1:3 R2:3 R3:3 R4:3</p>	<p>中期計画を概ね達成見込み</p> <p>42</p> <p>・企業等からの共同研究・受託研究の実施状況(テーマ数)</p> <table border="1" data-bbox="826 277 1453 398"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>3期累計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>共同研究</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>受託研究</td> <td>8</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>15</td> <td>44</td> </tr> </tbody> </table> <p>・開始時期、研究期間の柔軟な対応 (複数年度契約：共同研究延べ24テーマ) (年度途中の開始：受託共同合わせ延べ60テーマ)</p>	項目	R1	R2	R3	R4	3期累計	共同研究	8	9	10	10	37	受託研究	8	10	11	15	44																								
項目	R1	R2	R3	R4	3期累計																																							
共同研究	8	9	10	10	37																																							
受託研究	8	10	11	15	44																																							
<p>ウ 技術者研修</p>	<p>3 R1:3 R2:2 R3:3 R4:3</p>	<p>中期計画を概ね達成見込み</p> <p>42</p> <p>・受入れ状況</p> <table border="1" data-bbox="804 694 1453 851"> <thead> <tr> <th>研修名</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>3期累計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>技術者受入れ研修</td> <td>5名</td> <td>6名</td> <td>11名</td> <td>5名</td> <td>27名</td> </tr> <tr> <td>インターンシップ</td> <td>2名</td> <td>3名</td> <td>2名</td> <td>5名</td> <td>12名</td> </tr> <tr> <td>海外技術研修員</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>1名</td> <td>1名</td> </tr> </tbody> </table> <p>・職員派遣状況</p> <table border="1" data-bbox="804 909 1453 1028"> <thead> <tr> <th>研修名</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>3期累計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日数</td> <td>14</td> <td>8</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>派遣職員延べ人数</td> <td>20</td> <td>14</td> <td>16</td> <td>12</td> <td>62</td> </tr> </tbody> </table> <p>・各種研究会・セミナー等の実施 (詳細は、p.7 1-2(2)ア)</p>	研修名	R1	R2	R3	R4	3期累計	技術者受入れ研修	5名	6名	11名	5名	27名	インターンシップ	2名	3名	2名	5名	12名	海外技術研修員	0名	0名	0名	1名	1名	研修名	R1	R2	R3	R4	3期累計	日数	14	8	11	11	44	派遣職員延べ人数	20	14	16	12	62
研修名	R1	R2	R3	R4	3期累計																																							
技術者受入れ研修	5名	6名	11名	5名	27名																																							
インターンシップ	2名	3名	2名	5名	12名																																							
海外技術研修員	0名	0名	0名	1名	1名																																							
研修名	R1	R2	R3	R4	3期累計																																							
日数	14	8	11	11	44																																							
派遣職員延べ人数	20	14	16	12	62																																							
<p>エ 新事業創造支援センターの効果的活用</p>  <p>新事業創造支援センター</p>	<p>3 R1:4 R2:3 R3:3 R4:3</p>	<p>中期計画を概ね達成見込み</p> <p>43</p> <p>・利用促進を図るために、パンフレット等を活用したPRを継続</p> <p>・技術革新計画承認企業に対する減免制度、産学連携料金(減免措置)の適用、開放機器使用料金減免措置の継続運用</p> <p>・年度末時点の入居及び各種減免制度利用状況</p> <table border="1" data-bbox="632 1641 1386 1951"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入居企業数 (入居室数/全12室)</td> <td>7社 (8室)</td> <td>7社 (8室)</td> <td>7社 (8室)</td> <td>7社 (8室)</td> </tr> <tr> <td>減免措置制度利用企業数 (入居室数)</td> <td>5社 (6室)</td> <td>6社 (7室)</td> <td>3社 (4室)</td> <td>5社 (6室)</td> </tr> </tbody> </table>	年度	R1	R2	R3	R4	入居企業数 (入居室数/全12室)	7社 (8室)	7社 (8室)	7社 (8室)	7社 (8室)	減免措置制度利用企業数 (入居室数)	5社 (6室)	6社 (7室)	3社 (4室)	5社 (6室)																											
年度	R1	R2	R3	R4																																								
入居企業数 (入居室数/全12室)	7社 (8室)	7社 (8室)	7社 (8室)	7社 (8室)																																								
減免措置制度利用企業数 (入居室数)	5社 (6室)	6社 (7室)	3社 (4室)	5社 (6室)																																								

<p>第1-3 (3) 効果的かつ切れ目のない企業支援の一層の充実 多様化する県内企業ニーズへの対応及び他支援機関等との連携</p>  <p>台湾のプラスチック産業機関と了解覚書を締結(WE B締結式)</p>  <p>山口大学及びやまぐち産業振興財団と包括的連携・協力協定</p>  <p>防衛装備庁艦艇装備研究所と研究協力協定</p>  <p>九州工業大学社会ロボット具現化センターと包括連携協定</p>	<p>4 R1:4 R2:4 R3:4 R4:4</p>	<p>中期計画を十分達成見込み</p> <p>○バーチャル3Dものづくり支援センターの設置 (R1) ・運営と活用促進</p>  <p>産業技術センターホームページ内のバーチャル3Dものづくり支援センターの画面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3Dものづくり技術活用推進事業の実施 ・大学、国公設試、民間機関、やまぐち産業振興財団や金融機関等との連携した取組の継続 <p>○台湾のプラスチック産業機関と了解覚書を締結 (R3)</p> <p>○山口大学及びやまぐち産業振興財団と包括的連携・協力協定を締結 (R4)</p> <p>○水中ロボット関連産業振興のため防衛装備庁艦艇装備研究所と研究協力協定を、九州工業大学社会ロボット具現化センターと包括連携協定を締結 (R4)</p>	<p>44</p>
<p>第1-3 (4) 数値目標</p>	<p>4</p>	<p>小項目平均：3.5</p>	<p>—</p>
<p>ア 技術相談件数 中期計画：19,500件 (4年間の目標：15,600件)</p>	<p>4 R1:4 R2:4 R3:4 R4:3</p>	<p>中期計画を未達成 (十分達成見込み) 達成度 86% (中期計画に対する数値) 達成度 107% (4年間の目標に対する数値)</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">16,711件</p>	<p>49</p>
<p>イ 開放機器・依頼試験の利用件数 中期計画：18,700件 (4年間の目標：14,960件)</p>	<p>3 R1:4 R2:4 R3:4 R4:3</p>	<p>中期計画を未達成 (概ね達成見込み) 達成度 78% (中期計画に対する数値) 達成度 98% (4年間の目標に対する数値)</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">14,673件</p>	<p>49</p>

【大項目】第2 業務運営の改善及び効率化

(評定：b 大項目加重平均値：3.4)

(R01:3.0、R02:3.0、R03:3.6、R04:3.8)

中項目 小項目 細項目	評定	評定の理由 主な取組	報告書															
<p>第2-1 運営体制や経営資源配分の継続的見直し</p>  <p>R4 組織改編</p>	<p>4 R1:3 R2:3 R3:4 R4:4</p>	<p>中期計画を十分達成見込み</p> <ul style="list-style-type: none"> 全体会議の開催、グループウェア等による情報共有と意思統一 ○成長産業の育成・創出を目指す各種プロジェクトを強力に推進するための組織改編、管理体制強化 (R4) 経営委員会の定期的開催による、理事長の迅速な意志決定 ○DX化の推進(ノンプログラミングデータベースシステムの導入) (R3) RPAツールの試験導入に向けた検討会の実施 (R4) 理事長賞の創設 (R3) 	<p>50</p>															
<p>第2-2 センター業務の「見える化」の推進</p>  <p>公式YouTubeチャンネル</p>  <p>バーチャルツアーサイト</p>	<p>3 R1:3 R2:2 R3:4 R4:4</p>	<p>中期計画を概ね達成見込み</p> <ul style="list-style-type: none"> 刊行物(5種類)を発行し、ホームページへの掲載や報告会・展示会等を通じて配布 第3期「技術戦略」冊子の作成、配布 機器活用事例パネルの作成・公開(15機器) 県内・県外イベント等での積極的なPR活動の実施 技術報告会をオンラインで開催 (R2以降) <table border="1" data-bbox="829 1523 1372 1668"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催方式</td> <td>対面</td> <td>対面+Web</td> <td>Web※</td> <td>Web※</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>88名</td> <td>74名</td> <td>200名</td> <td>157名</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 発表動画をホームページに一定期間掲載するオンライン形式</p> <ul style="list-style-type: none"> SNSの積極的な活用による情報発信 ホームページ上で「技術戦略」、「研究報告書」等のPDFファイルを公開、「研究報告書」をJ-STAGEに掲載 (R4) 各技術グループ活動内容紹介動画、見学体験バーチャルツアーサイトの公開 (R4) 	年度	R1	R2	R3	R4	開催方式	対面	対面+Web	Web※	Web※	参加者	88名	74名	200名	157名	<p>52</p>
年度	R1	R2	R3	R4														
開催方式	対面	対面+Web	Web※	Web※														
参加者	88名	74名	200名	157名														

<p>第2-3 職員の職能開発の体系的・計画的実施</p>	<p>3 R1:3 R2:2 R3:4 R4:4</p>	<p>中期計画を概ね達成見込み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材育成方針に沿って、外部機関への研修派遣や外部講師を活用した所内研修を計画的に実施 ・研究職員の資質向上により研究開発及び技術支援能力の向上を図るため、大学院博士後期課程修学助成制度を創設 (R4) 	<p>54</p>
<p>第2-4 コンプライアンスの確保</p>	<p>3 R1:3 R2:3 R3:3 R4:3</p>	<p>中期計画を概ね達成見込み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営委員会や監査、安全衛生委員会などを適切に運用 ・規程の定めに基づき、研究開発に関わるコンプライアンス確保のための教育を実施 ・定期的（月1回）な安全衛生委員会開催による職場の安全衛生環境の確保 	<p>57</p>
<p>第2-5 危機管理対策の充実</p>	<p>4 R1:3 R2:4 R3:4 R4:4</p>	<p>中期計画を十分達成見込み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規採用職員を対象に職員教育を実施 ・全職員を対象とした情報セキュリティ教育の実施 ・情報ネットワーク関連機器の計画的な更新 ○統合脅威管理 (UTM) の導入 (R2) ○電子メールの誤送信防止ソフトウェアの導入 (R03) ○電子メールシステムのクラウド化 (R4) ○安全保障貿易管理への取組 (R3) ○業務継続計画 (新型インフルエンザ等対応編) を新たに策定 (R02) ○状況に応じた新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を逐次実施 ○Web会議システム (Zoom、Teams、Webex) の導入と積極的活用 	<p>58</p>

【大項目】第3 財務内容の改善

(評定：a 大項目加重平均値：3.7)

(R1:3.0、R2:3.6、R3:4.0、R4:4.0)

中項目 小項目 細項目	評定	評定の理由	報告書
		主な取組	
第3-1 自己収入の確保	4 R1:3 R2:4 R3:4 R4:4	<p>中期計画を十分達成見込み</p> <p>○機器整備や研究開発に係る外部資金の積極的な獲得（機器整備等：16 機器、研究開発：42 件）</p> <p>・使用料・手数料、受託研究及び知的財産の実施料等による自己収入の確保</p>	59
第3-2 経費の抑制	4 R1:3 R2:3 R3:4 R4:4	<p>中期計画を十分達成見込み</p> <p>・前年度事業費の実績の考慮と厳密な積算による効果的な予算編成による経費抑制</p> <p>・執行管理のため、上半期終了後に予算執行状況の集計・再配分を継続的に実施</p> <p>・比較的規模の小さな経費まで精査し、管理運営にかかる経費を抑制</p> <p>○DX化の推進や事務の見直し等による業務効率化</p>	61

【大項目】第4 その他業務運営に関する重要事項

(評定：b 大項目加重平均値：3.3)

(R1:3.0、R2:3.0、R3:3.5、R4:3.5)

中項目 小項目 細項目	評定	評定の理由 主な取組	報告書
第4-1 施設設備の適正な管理  <p style="text-align: center;">テレワークスペース</p>	4 R1:3 R2:3 R3:4 R4:4	中期計画を十分達成見込み ・保守業務への計画的な予算配分 ・保全計画に沿った防水工事及び空調更新工事等の実施 ○新型コロナウイルス対策に配慮した仕様による大規模空調設備更新 (R3) ・利用者が施設を利用する際の空調については、空調期間に関わらず、室温等を考慮した弾力的運用 ・会議室利用手続きの簡素化 ○利用者の利便性を向上のためのテレワークスペースの設置 (R4)	62
第4-2 環境負荷の低減 	3 R1:3 R2:3 R3:3 R4:3	中期計画を概ね達成見込み ・省エネ・省資源、ゴミの分別収集による古紙などの再資源化等の取組 ・電力使用量の「見える化」による省エネ行動喚起 ・会議における配付資料の電子化推進によるコピー用紙使用量の削減 ・太陽光発電設備の更新 (R2)	63

3 第3期中期目標期間終了年度に向けた取組（令和5年度に実施する特筆すべき事項）

① 成長産業の発展に向けたイノベーションの推進

＜第1-1 成長産業の発展に向けたイノベーションの推進＞

成長産業の更なる発展に向けて、令和4年度の再編により管理体制を強化した組織による支援を更に進め、既存のしくみも活かしながら、県内企業のニーズ、シーズの発掘から事業化に至るまでの研究開発プロジェクトに関わる総合的な支援を行う。これまでの取組により培われた産学公や大企業・中小企業の連携体制等を活かしつつ、県内外にネットワークを広げて、成長産業の次代を担う研究開発プロジェクトの発掘に積極的に取り組むことにより、県内企業における事業化を推進し、以下の目標達成に努める。

- ・イノベーションの推進による成長産業分野の事業化件数 13件

② ものづくり力の高度化・ブランド化の推進

＜第1-2 中小企業の「底力」の発揮に向けたものづくり力の高度化・ブランド化の推進＞

- ・実用化研究の基盤となる技術を生み出す研究開発に持続的に取り組むとともに、企業のニーズ、県の産業振興施策や社会経済情勢の変化を捉えつつ、事業化戦略を踏まえた実用化研究を、効果的かつ重点的に実施する。
- ・研究開発成果については、各種研究会や企業訪問、学協会等で広く発信するとともに、共同研究・受託研究などにより企業への移転を推進する。

③ 多様化する県内企業ニーズへの対応

＜第1-3 「中核的技術支援拠点」としての更なる機能強化＞

- ・県内企業のニーズを踏まえた計画的な先端的試験研究機器整備に努める。
- ・「バーチャル3Dものづくり支援センター」については、利用促進のための普及活動を引き続き行う。

④ 業務運営の改善及び効率化

＜第2-2 運営体制や経営資源配分の継続的見直し＞

- ・RPAや薬品管理クラウドシステム等の導入により、定型事務作業の省力化による業務の効率化を図る。

⑤ 施設設備の適切な管理

＜第4-1 施設設備の適切な管理＞

- ・安定的なサービスの提供の基盤となる施設設備が効果的・効率的に活用されるよう計画的に整備するとともに、保守・修繕等をはじめ施設設備の長期的な保全に向けた取組を行い、安全性の確保と利便性の向上を図る。

令和4年度決算

1 財務諸表

(1) 貸借対照表の要旨 (令和5年3月31日現在) (単位：百万円)

資産の部		負債及び純資産の部	
固定資産	5,342	固定負債	735
有形固定資産	5,045	流動負債	189
土地	1,001		
建物	3,820	【負債合計】	924
その他	225	資本金	6,375
無形固定資産	10	資本剰余金	△1,768
投資その他資産	287	資本剰余金	305
流動資産	238	損益外減価償却累計額	△2,073
現金及び預金	69	損益外減損損失償却累計額	△1
その他	169	利益剰余金	49
		研究・業務運営充実積立金	29
		前中期目標期間繰越積立金	0
		当期末処分利益	20
		【純資産合計】	4,656
資産合計 (※R3: 5,474)	5,580	負債・純資産合計	5,580

注) 四捨五入の関係で、計が合わないことがあります。

(2) 損益計算書の要旨 (令和4年4月1日～令和5年3月31日) (単位：百万円)

費用の部		収益の部	
経常費用	1,022	経常収益	1,000
業務費	333	運営費交付金収益	595
人件費	452	使用料・手数料収入	37
管理運営費	238	特許実施料	1
		受託事業等収益	136
		補助金収益	104
		資産見返負債戻入	88
臨時損失	334	引当金見返に係る収益	37
(当期純利益)	(△23)	その他収益	1
当期総利益	20	臨時利益	334
		目的積立金取崩額	42
合計 (※R3: 960)	1,376	合計	1,376

注) 四捨五入の関係で、計が合わないことがあります。

2 決算報告書

(単位：百万円)

収入		支出	
運営費交付金等	722	業務費	261
自己収入	305	人件費	468
前年度繰越金	0	一般管理費	221
目的積立金取崩	62	施設費	120
合計 (※R3: 1,139)	1,090	合計	1,070
収支差額			20

注) 四捨五入の関係で、計が合わないことがあります。

令和3年度決算

1 財務諸表

(1) 貸借対照表の要旨 (令和4年3月31日現在) (単位：百万円)

資産の部		負債及び純資産の部	
固定資産	5,163	固定負債	436
有形固定資産	5,151	流動負債	220
土地	1,001		
建物	3,919	【負債合計】	656
その他	231	資本金	6,375
無形固定資産	12	資本剰余金	△1,648
投資その他資産	0	資本剰余金	286
流動資産	311	損益外減価償却累計額	△1,934
現金及び預金	189	損益外減損損失償却累計額	△1
その他	121	利益剰余金	91
		研究・業務運営充実積立金	30
		前中期目標期間繰越積立金	53
		当期末処分利益	8
		【純資産合計】	4,818
資産合計 (※R2:5,320)	5,474	負債・純資産合計	5,474

注) 四捨五入の関係で、計が合わないことがあります。

(2) 損益計算書の要旨 (令和3年4月1日～令和4年3月31日) (単位：百万円)

費用の部		収益の部	
経常費用	952	経常収益	960
業務費	335	運営費交付金収益	590
人件費	472	使用料・手数料収入	40
管理運営費	145	特許実施料	1
		受託事業等収益	161
		補助金収益	100
		資産見返負債戻入	69
臨時損失	0	その他収益	1
(当期純利益)	(8)	臨時利益	0
当期総利益	8	目的積立金取崩額	0
合計 (※R2:1,019)	960	合計	960

注) 四捨五入の関係で、計が合わないことがあります。

2 決算報告書

(単位：百万円)

収入		支出	
運営費交付金等	644	業務費	270
自己収入	495	人件費	472
前年度繰越金	0	一般管理費	141
目的積立金取崩	0	施設費	248
合計 (※R2:1,045)	1,139	合計	1,131
収支差額			8

注) 四捨五入の関係で、計が合わないことがあります。

令和2年度決算

1 財務諸表

(1) 貸借対照表の要旨 (令和3年3月31日現在) (単位：百万円)

資産の部		負債及び純資産の部	
固定資産	5,128	固定負債	257
有形固定資産	5,116	流動負債	111
土地	1,001		
建物	3,877	【負債合計】	368
その他	238	資本金	6,375
無形固定資産	10	資本剰余金	△1,506
投資その他資産	2	資本剰余金	304
流動資産	192	損益外減価償却累計額	△1,810
現金及び預金	88	損益外減損損失償却累計額	△1
その他	104	利益剰余金	83
		研究・業務運営充実積立金	12
		前中期目標期間繰越積立金	53
		当期末処分利益	19
		【純資産合計】	4,952
資産合計 (※R1:5,426)	5,320	負債・純資産合計	5,320

注) 四捨五入の関係で、計が合わないことがあります。

(2) 損益計算書の要旨 (令和2年4月1日～令和3年3月31日) (単位：百万円)

費用の部		収益の部	
経常費用	1,000	経常収益	1,007
業務費	347	運営費交付金収益	631
人件費	513	使用料・手数料収入	40
管理運営費	141	特許実施料	1
		受託事業等収益	208
		補助金収益	68
		資産見返負債戻入	59
臨時損失	0	その他収益	0
(当期純利益)	(19)	臨時利益	12
当期総利益	19	目的積立金取崩額	0
合計 (※R1:926)	1,019	合計	1,019

注) 四捨五入の関係で、計が合わないことがあります。

2 決算報告書

(単位：百万円)

収入		支出	
運営費交付金等	671	業務費	282
自己収入	374	人件費	513
前年度繰越金	0	一般管理費	146
目的積立金取崩	0	施設費	85
合計 (※R1:929)	1,045	合計	1,027
収支差額			18

注) 四捨五入の関係で、計が合わないことがあります。

令和元年度決算

1 財務諸表

(1) 貸借対照表の要旨 (令和2年3月31日現在) (単位：百万円)

資産の部		負債及び純資産の部	
固定資産	5,255	固定負債	231
有形固定資産	5,238	流動負債	106
土地	1,001		
建物	4,002	【負債合計】	337
その他	235	資本金	6,375
無形固定資産	17	資本剰余金	△1,351
		資本剰余金	304
流動資産	170	損益外減価償却累計額	△1,655
現金及び預金	98	損益外減損損失償却累計額	△1
その他	72	利益剰余金	64
		前中期目標期間繰越積立金	53
		当期末処分利益	12
		【純資産合計】	5,089
資産合計 (※H30:5,624)	5,426	負債・純資産合計	5,426

注) 四捨五入の関係で、計が合わないことがあります。

(2) 損益計算書の要旨 (平成31年4月1日～令和2年3月31日) (単位：百万円)

費用の部		収益の部	
経常費用	915	経常収益	926
業務費	283	運営費交付金収益	608
人件費	485	使用料・手数料収入	42
管理運営費	147	特許実施料	2
		受託事業等収益	139
		補助金収益	67
		資産見返負債戻入	67
臨時損失	0	その他収益	1
(当期純利益)	12	臨時利益	0
当期総利益	12	目的積立金取崩額	0
合計 (※H30:870)	926	合計	926

注) 四捨五入の関係で、計が合わないことがあります。

2 決算報告書

(単位：百万円)

収入		支出	
運営費交付金等	650	業務費	219
自己収入	279	人件費	485
前年度繰越金	0	一般管理費	144
目的積立金取崩	0	施設費	70
合計 (※H30:947)	929	合計	918
収支差額			11

注) 四捨五入の関係で、計が合わないことがあります。

(別表) 第3期中期目標期間のうち令和元年度から令和4年度における項目別評価結果総括表

(大項目) (中項目) (小項目) (細項目)	R01	R02	R03	R04	中期計画 における 対象細項 目数	年度計画 における 対象細項 目数	細項目別評価の採点内訳 (個数)					細項目 別評価 の平均 値	小項目 別評価 の採点 数	中項目別 評価 (加重平 均値)	各中項目のウエイト 配分	各小項目のウエイト 配分	中項目別 評価 (加重平 均値)	大項目別 評価 (加重平 均値)	各項目のウエイト 配分	各項目のウエイト 考え方	大項目別 評価 (加重平 均値)	全体評価 (加重平 均値)
							5 点	4 点	3 点	2 点	1 点											
第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上																						
1 成長産業の発展に向けたイノベーションの推進						30	30	9	44	63	4	0	120	3.5								
(1) 成長産業における研究開発を支援する体制の強化					1	1	0	4	0	0	0	4	4.0	4	0.4							
新たなイノベーション創出への取組と、コア・ネットワーク体制の強化	4	4	4	4	1	1	0	4	0	0	0	4	4.0	4								
(2) 産学公や企業間連携による研究開発・事業化の促進					1	1	0	1	3	0	0	4	3.3	3	0.4							
産学公や企業間連携等を活かした、県内企業での研究開発・事業化の促進	3	3	3	4	1	1	0	1	3	0	0	4	3.3	3								
(3) 数値目標					1	1	4	0	0	0	0	4	5.0※	5	0.2							
イノベーションの推進とその成果の普及	5	5	5	5	1	1	4	0	0	0	0	4	5.0※	5								
2 中小企業の「底力」の発掘に向けたものづくりの高度化・ブランド化の推進					7	7	5	7	15	1	0	28	3.6									
(1) 実用化研究の推進とその成果の普及					2	2	0	1	7	0	0	8	3.1	3	0.4							
ア 実用化研究の推進	3	3	3	4	1	1	0	1	3	0	0	4	3.3	3								
イ 研究開発成果の普及	3	3	3	3	1	1	0	0	4	0	0	4	3.0	3								
(2) 企業の技術革新の促進					2	2	0	0	8	0	0	8	3.0	3	0.4							
ア 各種技術研究会活動の積極的な展開	3	3	3	3	1	1	0	0	4	0	0	4	3.0	3								
イ 研究開発計画策定や資金獲得の支援	3	3	3	3	1	1	0	0	4	0	0	4	3.0	3								
(3) 数値目標					3	3	5	6	0	1	0	12	4.3※	4	0.2							
ア 特許等の出願及び新規使用許諾件数	2	5	4	4	1	1	1	2	0	1	0	4	4.0※	4								
イ 国等の提案公募型研究開発事業の実施件数	4	4	5	5	1	1	2	0	0	0	0	4	5.0※	5								
ウ 研究開発・技術支援が事業化(商品化)に至った件数	4	5	5	4	1	1	2	2	0	0	0	4	4.0※	4								
3 「中移的技術支援拠点」としての更なる機能強化					11	11	0	17	25	2	0	44	3.3									
(1) 産業技術に関する相談等の充実					2	2	0	1	6	1	0	8	3.0	3	0.2							
ア 技術相談の充実	3	2	3	3	1	1	0	0	3	1	0	4	2.8	3								
イ 地域課題解決への取組	4	3	3	3	1	1	0	1	3	0	0	4	3.3	3								
(2) 試験研究機器の整備等による技術支援サービスの充実					6	6	0	6	17	1	0	24	3.2	3	0.4							
技術支援サービス充実への取組	4	4	3	3	1	1	0	2	2	0	0	4	3.5	4								
技術支援サービスの検証	3	3	3	3	1	1	0	0	4	0	0	4	3.0	3								
開放機器、依頼試験	4	4	4	3	1	1	0	3	1	0	0	4	3.8	4								
イ 委託研究・共同研究	3	3	3	3	1	1	0	0	4	0	0	4	3.0	3								
ウ 技術者研修	3	2	3	3	1	1	0	0	3	1	0	4	2.8	3								
エ 新事業創造支援センターの効果的活用	4	3	3	3	1	1	0	1	3	0	0	4	3.3	3								
(3) 効果的かつ切れ目のない企業支援の一層の充実	4	4	4	4	1	1	0	4	0	0	0	4	4.0	4	0.2							
多様化する県内企業ニーズへの対応及び他支援機関等との連携	4	4	4	4	2	2	0	6	2	0	0	8	3.5※	4	0.2							
(4) 数値目標					1	1	0	3	1	0	0	4	4.0※	4								
ア 技術相談件数	4	4	4	3	1	1	0	3	1	0	0	4	4.0※	4								
イ 開放機器・依頼試験の利用件数	4	4	4	3	1	1	0	3	1	0	0	4	3.0※	3								

